

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 37

2011年1月18日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。  
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は、加藤雅也先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「産学マッチング会in浜松」を開催します
2. 平成22年度第4回「TKM（共に語る未来）サロン」案内
3. 「産学官マッチング会in豊橋」を開催します
4. 地域再生人材創出拠点の形成シンポジウム案内
5. JSTイノベーションサテライト静岡「研究成果報告会」案内
6. 「これからの〈まち〉の姿を考える」案内
7. ビジネス支援講座&相談会「起業」やらまいか！案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

- 
1. 「産学官マッチング会in浜松」を開催します  
～地域産業界の皆様との技術交流を促進し、  
大学等の研究成果を普及する場を目指して～

日時 2011年1月25日（火）13:30～16:30  
会場 アクトシティ浜松コンgresセンター5階会議室  
主催 地域中核産学官連携拠点  
「光・電子技術イノベーション創出拠点」  
東海イノベーションネットワーク  
JSTイノベーションサテライト静岡

発表者と発表シーズ応用例

1. 愛知工科大学 工学部機械システム工学科 山本照美  
動的強度試験装置と数値解析用材料モデル。  
①検力ブロック式高速材料試験機による各種機械材料の引張強度と伸び特性試験。  
②検力ブロック式衝撃座屈試験装置による各種部材の衝撃座屈や耐衝撃特性試験。  
③衝突解析などの数値解析用材料モデルの開発研究。
2. 静岡大学 工学部機械工学科 酒井克彦  
リベットやねじなどの機械的締結材や、ロウ材や接着剤によらない異種金属材料のレーザ接合。  
チタンなどの高融点材料の高速レーザ接合。
3. 静岡大学 工学部機械工学科 岩田太  
ナノスケールの表面計測・加工。  
精密部品、精密回路、光学部材の検査や補修。
4. 静岡大学 工学部機械工学科 大岩孝彰  
ポータブルな機器の空気軸受、極低摩擦が必要な機器・クリーンな環境が必要な機器の軸受。  
高速・高精度な位置決め装置。  
変位計測センサ。
5. 静岡県立大学 環境科学研究所 坂口真人  
化粧品保湿剤。食品添加剤。樹脂充填剤。  
セルロース界面活性剤。DDS。

6. 豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 大門裕之  
プラスチックのリサイクル。  
農業系(バイオマス系)廃棄物の処理・リサイクル。  
混合廃棄物のリサイクル。液体飼料、堆肥化、バイオガス生産。
7. 沼津高等専門学校 物質工学科 蓮實文彦  
食品排水等から有用成分の回収。食品残渣の有効活用。回収成分の有効利用。  
上記のためのプラント設計・製造。  
再資源化ではないが、微生物を使った環境浄化など。
8. 静岡TTOの説明  
参加費 無料  
申込/詳細 <http://shizuoka-jst-satellite.jp/matching2301/>  
問合せ先 JSTイノベーションサテライト静岡 TEL 053-412-2511  
E-mail shizuoka@shizuoka-jst-satellite.jp

---

## 2. 平成22年度第4回「TKM(共に語る未来)サロン」ご案内

お互いを知り、シーズとニーズが融合することで、産学連携＝共同研究等の取組みを活発化し、企業のブランド化、新商品・製品の高付加価値化、ベンチャー企業、人材が創出される自立・持続可能なイノベーション社会を構築する「きっかけの場」として「共に語る未来サロン(TKMサロン)」を下記のとおり開催します。

今回は13:30～「産学官マッチング会in浜松」と併せて開催します。

- 日時 2011年1月25日(火) 10:30～12:00  
場所 アクトシティ浜松コンgresセンター5階54会議室  
参加費 500円/1人(12時から交流のための情報交換(軽食))  
内容 ①地域企業発表  
1. 「世界初『液滴振動式撥水性評価装置』の開発」  
発表者: SAW&SPR-Tech 有限会社  
取締役社長 塩川 祥子、技術部長 松井 義和  
2. 「組み込みソリューション紹介とクラウド新サービス」  
発表者: 株式会社アバンセシステム  
クラウド事業推進室 室長 永田 正樹  
3. 「ナノ粒子とコロイド系フォトニック結晶」  
発表者: ナノ・ミール株式会社  
代表取締役 内山 昌一  
②大学、産業支援機関等からのお知らせ  
③情報交換
- 主催 浜松地域テクノポリス推進機構オプトロニクスクラスター本部  
協力 静岡大学ほか  
申込み 出席者名、所属、役職、E-mail、TELをご連絡下さい。  
問合せ (財)浜松地域テクノポリス推進機構  
オプトロニクスクラスター本部事務局 担当 東畑  
TEL 053-489-9111 FAX 053-452-0016  
E-mail higashi@ohamatech.or.jp

---

## 3. 「産学官マッチング会in豊橋」を開催します

- 日時 2011年1月28日(金) 13:30～16:50  
会場 豊橋商工会議所4階406室  
主催 東海イノベーションネットワーク  
地域中核産学官連携拠点  
「光・電子技術イノベーション創出拠点」

発表者と発表シーズ応用例

1. 静岡大学 創造科学技術大学院 佐古猛  
プラスチックのリサイクル。  
農業系（バイオマス系）廃棄物の処理・リサイクル。  
混合廃棄物のリサイクル。
  2. 沼津工業高等専門学校 物質工学科 蓮實文彦  
食品廃水棟から有用成分の回収。  
食品残渣の有効活用。  
回収成分の有効利用。  
上記のためのプラント設計、製造。  
再資源化ではないが、微生物を使った環境浄化など。
  3. 静岡大学 工学部電気電子工学科 犬塚博  
農産物の食べ頃や果実の硬さ（歯応え）情報を得る。  
野菜の鮮度管理、ゴム・プラスチック等の品質管理。
  4. 浜松工業技術支援センター 材料科 伊藤芳典  
医療部品、民生機器、輸送用機器等で生体適合性や耐食性、  
軽量化が要求される部品。
  5. 静岡大学 工学部機械工学科 朝間淳一  
真空中で駆動可能な非接触ステージ、送液ポンプ  
（純水、薬液、血液等搬送）  
高速回転機（遠心ファン、ブロー等）
  6. 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 栗本宗明  
重電機器・電気部品に用いる絶縁材料。
  7. 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 千坂光陽  
燃料電池の触媒。
  8. (株)豊橋キャンパスイノベーション（とよはしTLO）紹介
- 参加費 無料  
申込/詳細 <http://www.chizai.tut.ac.jp/topic/2011matching.html>  
問合せ先 豊橋技術科学大学 産学連携推進本部  
TEL 0532-44-6983 FAX 0532-44-6980

---

4. 地域再生人材創出拠点の形成シンポジウムご案内  
「日産自動車における3次元デジタル技術を活用したものづくり」

- 日時 2011年2月1日（火）13:00～17:30  
会場 グランドホテル浜松2階 鶴の間  
プログラム  
挨拶 静岡大学学長 伊東 幸宏 氏  
浜松市市長 鈴木 康友 氏  
講演①「デジタル技術を活用したボディプレス金型の一発良品の取組み」  
車両生産技術本部グローバル型・設備管理部  
エキスパートリーダー 田中 美德 氏  
講演②「鍛造加工のデジタルイノベーション」  
パワートレイン生産技術本部パワートレイン技術開発試作部  
エキスパートリーダー 藤川 真一郎 氏  
総合討論  
交流会 [17:30～19:30]  
参加費 無料（交流会参加の方は3000円）  
詳細/申込 [http://www.eng.shizuoka.ac.jp/digital\\_meister/](http://www.eng.shizuoka.ac.jp/digital_meister/)  
問合せ先 静岡大学工学部産学連携室 TEL 053-478-1757  
E-mail thmakiz@ipc.shizuoka.ac.jp

---

5. H22年度JSTイノベーションサテライト静岡「研究成果報告会」案内  
ページ(3)

地域の知力！ 静岡・山梨・長野が育むイノベーション  
～事例から考える産学共同研究 第2弾～

日時 2011年1月21日（金）13：30～17：00  
会場 アクトシティ浜松コンgresセンター5階 会議室  
主催 JSTイノベーションサテライト静岡  
後援 静岡県ほか

プログラム

- ・ 育成研究成果報告  
「新しい作用機構を有する植物成長調節剤の開発」  
静岡大学 教授 河岸洋和
- ・ 研究開発資源活用型成果報告  
「内視鏡手術ナビゲーターの開発」  
浜松医科大学 准教授 山本清二
- ・ シーズ発掘試験成果報告／地域ニーズ即応型成果報告

参加費 無料

詳細/申込 <http://shizuoka-jst-satellite.jp/>

問合せ先 JSTイノベーションサテライト静岡 担当 櫻井、鈴木(道)  
TEL 053-412-2511

---

6. 「これからの〈まち〉の姿を考える  
－工学&情報学の視点から」ご案内

◆静岡大学・中日新聞連携講座

【第4回】「経営情報学からモノづくりのまち・浜松を考える」

日時 2011年2月12日（土）14:00～16:00

講師 田中 宏和（静岡大学情報学部教授）

【第5回】「東海地震について考えるための防災ゲーム」

日時 2011年3月5日（土）14:00～16:00

講師 前田 恭伸（静岡大学工学部准教授）

会場 TKP浜松カンファレンスステーション会議室2  
（浜松駅ビル「MAY ONE」4階）

参加費 無料（先着順）

申込方法 FAX、メール、ハガキのいずれかでお申込みください。

詳細 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/event00046.html>

問合せ先 静岡大学生涯学習教育研究センター  
TEL 054-238-4817 FAX 054-238-4817  
E-mail [LLC@ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:LLC@ipc.shizuoka.ac.jp)

---

7. ビジネス支援講座&相談会「起業」やらまいか！案内  
「ネットのおもてなし世界戦略」

日時 2011年2月26日（土）13:30～16:00

会場 浜松市立城北図書館 2階講座室

主催 浜松市立城北図書館、はままつ産業創造センター

内容 ●企業経営・事業運営の参考に  
●なぜ?「おもてなし」なのか?

●商談獲得するには

講師 川連一豊氏

（株式会社SAVAWAY 代表取締役社長ECコンサルタント）

参加費 無料

定員 40名（先着順）

相談会 2011年2月26日（土）①9:30～②10:00～③10:30～④11:00～

申込み 電話にて城北図書館までお申込みください。

## 《 静大ラボ紹介 -22- 》

農学部共生バイオサイエンス学科 加藤雅也准教授

<http://www.agr.shizuoka.ac.jp/bs/harvest/index.html>

ミカンが美味しい季節になりました。寒い日に炬燵に入って食べるミカンは本当に美味しいものです。

ミカンにビタミンCが含まれていることは皆さんもご存知でしょうが、β-クリプトキサンチンという成分が多く含まれていることはあまり知られていないかもしれません。β-クリプトキサンチンは、カロテノイドの1種で、骨粗しょう症や、ガンに効果があると言われている機能性成分です。

加藤雅也先生のポストハーベスト研究室では、ミカン等の柑橘類のβ-クリプトキサンチンやビタミンC等の機能性成分の含量をどのような要因が調節しているのか、生合成や分解に関わる遺伝子の発現を調査することにより解明しています。また、収穫後の機能性成分の高含有化に関する研究も行っています。

美味しいだけでなく病気予防効果もあるミカンを食べられる日がすぐそこまで来ているかも知れません。

(記：知財コーディネーター 吉田典江)

## 《 みんなのコラム -36- 》

明けましておめでとうございます。

今回は、静岡キャンパスを中心とした産学連携の一例を紹介します。「駿河湾地域の循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクト」は、静岡市の政令指定都市移行に伴う産業振興プランとして、平成17年7月にスタートし、平成21年度で5年間の取り組みが終了しました。

この事業は、静岡市（旧清水市）周辺企業と市内の三大学：静岡大学、静岡県立大学、東海大学との産学連携事業で、推進拠点として、静岡大学農学部にも共同研究室を設置し、各テーマに沿ったシーズ探索から実証研究活動まで行ってきました。この間、静岡大学が主導して、アスタキサンチン入り清涼飲料の試作製品化、薬草育成の生産技術開発、イチゴ病防除の農業資材の商品化など成果を挙げてきました。

その結果、本事業は、静岡市との間で平成22年度から2年間延長し、実用化へ向けた研究を継続することが認められました。現在、さらなる地域産学連携の発展を期待しているところです。

(記：理事（研究・情報担当）、副学長 碓氷泰市)

## 《 編集後記 》

今月、静岡大学では、次代を担う若手研究者14名を重点支援対象者として選定しました。

国立大学法人は、平成16年の法人化以降、文部科学大臣の定める「中期目標」を達成するためにとるべき措置を「中期計画」として定めることになっています。

静岡大学は、その第2期（H22-27年度）の中で、研究実施体制について、「地域から世界に羽ばたく創造的な研究を推進するため、高い研究能力を有する研究者を確保・育成し、また、研究推進体制を改善する」を目標に定め、「特に優れた研究プロジェクトや個人研究を推進する教員に対する特別措置を与える」ため、今回の重点支援者を選定しました。

社会の中で「人と知恵」の源泉として大学が果たすべき役割、私達が産学連携として果たすべき役割を改めて考え、産学連携の専門家集団へ

進化する年にしたいと思います。

\*-\*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・  
配信中止のご連絡は、sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp まで  
お願いします。(↑送付の際は○欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター (IJRC)  
編集：原典子  
編集責任者：木村雅和  
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
TEL 053-478-1414  
URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

\*-\*  
Copyright(c)2008-2011 Innovation and Joint Research Center,  
Shizuoka University. All rights reserved